

動く図書館 「ジンタ号」



「ジンタ号」は、図書館から遠いところに住んでいる方に気軽に本を読んでもらうために、自動車に本を積み、本の貸出をする“動く図書館”です。三島出身の児童文学者、小出正吾氏が『ジンタの音』という作品で「野間児童文芸賞」を受賞された際、その副賞を寄附いただき、昭和51年に初代ジンタ号の巡回を開始しました。平成23年2月に現在の4代目車両となり、3代目ジンタ号は、南アフリカ共和国で活躍することになっています。

「地域の情報センター」へ躍進

三島市は昭和16年4月に市制施行しています。三島市最初の図書館は、昭和25年の図書館法施行を機に、現在の社会福祉会館が建っている地に開設されました。そして、昭和35年には三島市立図書館佐野記念館として、現在の生涯学習センター立体駐車場が建っている場所に建て替えられました。その後、平成9年に生涯学習センターが完成し、その1階、2階部分に

知の情報拠点として市民を支援 vol.33



三島市立図書館

新聞記事検索システムの活用事例

図書館本館をオープンしました。

約3千点から始まった図書館も、平成25年度末の蔵書総数は、約45万5千点。本館の入館者は、年間42万2千人。平成9年からの17年間の累計では、718万7千人もの人が入館されています。

社会情勢が変化する中、図書館は、従来の「読書のための施設」から仕事や健康、趣味等々暮らしの中の課題解決のために活用する「地域の情報センター」へと変化してきています。

そのため、三島市立図書館では、従来の紙媒体



新聞データベースで検索する岩田館長

の図書資料に加え、官報情報検索サービスなどのオンラインデータベースの契約をし、図書館利用者が活用できるようにしています。

この度、「静岡新聞データベースplus日経テレコン」が利用できるようになりました。ビジネスに学習に、大いに活用していただきたいと思えます。

三島市立図書館長 岩田 道彦

確かな新聞情報を活用

玉石混交のインターネットとは違い、新聞は信頼性の高い情報を発信していますので、その情報を活用するために、「静岡新聞データベースplus日経テレコン」を導入しました。新聞データベースなら、検索するだけで、簡単に知りたい記事を見つけることができ、時代背景など様々な情報を得ることができます。

また、静岡新聞・日本経済新聞・伊豆新聞の記事だけでなく、企業情報等も検索でき、



レファレンス業務にあたる司書職員

価値ある情報を得られます。新聞データベースは、仕事や資格取得・就活等に役立てたり、暮らしの中の身近な疑問を解決する糸口を見つけるために、図書館に欠かせないツールとなっています。

三島市立図書館司書 中島 多美子

図書館利用者講座 参加者募集

静岡新聞データベースplus日経テレコン
活用方法と図書館ホームページの
利用について学びませんか

- 日時 平成26年9月5日(金) 午後1時30分～3時
 - 定員 20名
 - 場所 三島市民生涯学習センター5階パソコン室
 - 申込 7月1日から8月28日まで
(電話、図書館窓口、電子申請にて)
 - 問合せ先 三島市立図書館 本館
 - 電話 055-983-0880
- <http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp>

私たちのまち Our home town



とよおか たけし
豊岡 武士 三島市長

花と緑のまちづくりを推進

三島市では「ガーデンシティ」によるまちづくりを推進し、花で彩られた街並みは、訪れた皆様からお褒めをいただいています。

また、楽寿園や三嶋大社に加え、来年には箱根西麓に日本一の大吊り橋が完成し、新たな観光名所となることを期待しているところであります。

ガーデンシティの取り組みを通じて美しく品格のあるまちづくりを進める中で、皆さまには三島市立図書館および新聞データベースを大いにご活用いただき、教養を高め、生涯学習活動に励んでいただけると幸いです。

[当サービスのご利用について] 静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。[利用料金] サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額固定料金ががかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187(平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

<http://www3.shizushin.com/dbplus/>



静岡新聞

日経テレコン